

# 令和6年度北海道専任教員養成講習会実施要綱(案)

- 1 目的  
看護職員の養成に携わる者に必要な知識・技術を修得させ、看護教育の内容の充実向上を図る。
- 2 主催  
北海道
- 3 開催期間  
令和6年4月17日(水)～令和6年11月22日(金)  
(原則、土・日曜日及び国民の祝日は実施しないが、振替授業等をする場合がある。  
※集合研修を予定しておりますが、状況により遠隔授業に変更する可能性あり。
- 4 開催場所  
札幌市内(予定)
- 5 定員  
40名
- 6 受講資格  
次の各号のいずれにも該当する者。

## ＜推薦応募＞道内の施設の所属長の推薦がある者

- (1)保健師、助産師又は看護師として5年以上その業務に従事した者  
又は 保健師、助産師又は看護師として3年以上その業務に従事した者で、かつ、大学において教育に関する科目(4単位)を履修して卒業した者、若しくは大学院において教育に関する科目(4単位)を履修した者
- (2)「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」(令和5年5月11日医政発0511第5号厚生労働省医政局長通知)第5の1に定める「専任教員として必要な研修」を修了していない者
- (3)受講期間中、本講習会に専念できる者

## ＜一般応募＞ 推薦応募以外の者で、原則として道内の看護師等養成所において専任教員として就業を希望する者

- (1)上記＜推薦応募＞(1)から(3)
- (2)原則として、都道府県保健師助産師看護師実習指導者講習会を修了し、修了後学生指導経験が1年以上ある者、又は、実習インストラクターとして学生指導経験がある者

- 7 教育科目  
別紙1のとおり

- 8 修了証の交付  
全ての科目の単位認定を受けた者に、北海道知事名で修了証を交付する。  
(厚生労働省認定申請予定)

## 9 受講上の留意事項

- (1)宿舎は、受講者が準備すること。
- (2)できるだけ地下鉄、バス等を利用して受講すること。
- (3)eラーニングの受講、講義・演習でのパソコンの使用、また、Web 授業に備え、開講までにパソコン(カメラ・マイク・スピーカー要、インターネット環境;通信速度は、下り 10Mbps 以上を推奨)を各自準備し、基本的なパソコン操作は習得していること。

10 応募手続き

(1) 提出書類

推薦応募 (道内の施設の所属長の推薦)	一般応募
<p>① 申込書 申込みフォームにアクセスする。 アドレスは、下記13を参照</p> <p>② 調査書(第1号様式)</p> <p>③ 添付書類 ・所属長の推薦書(第2号様式) ・レポート「私の看護観について」 内容: 自己の看護観について、看護体験をとおりして記載すること 仕様: A4版(縦置き・横書き) 800字以内(400字詰め原稿用紙2枚以内とし、パソコン等を使用する際は、原稿用紙の設定とする。タイトル、サブテーマ、所属、氏名を記載した表紙を添付し、レポートの左上1箇所をホチキスで止めること) ※「私の看護観について」のレポートは、研修中の演習や講義等で使用します。考えの根拠となるような看護体験をもとに記載して下さい。</p>	<p>① 申込書 申込みフォームにアクセスする。 アドレスは、下記13を参照</p> <p>② 調査書(第1号様式) ・「受講動機」の欄に講習修了後の就業希望を具体的に記載すること(課程・勤務地等)</p> <p>③ 添付書類 ・保健師・助産師・看護師のうち就業する課程に必要な資格*の免許証及び都道府県保健師助産師看護師実習指導者講習会修了証(写し) ・業務従事証明書(第3号様式) 保健師・助産師・看護師のうち就業する課程に必要な資格の就業状況について、施設長が証明したもの(2箇所以上の施設で合わせて5年もしくは3年以上になる場合は個々に証明が必要) ※実習インストラクターとして就業を証明したものを含む ・レポートA「私の看護観について」 内容、仕様は推薦応募に準じる ・レポートB「私の考える看護教育について」 内容: 教員を志望する動機と、自己の教育観あるいは今後の看護教育に必要と考えることについて記載すること 仕様: レポートAに準じる</p>

\*「就業する課程に必要な資格」とは、保健師養成所の場合は保健師、助産師養成所の場合は助産師、看護師養成所の場合は保健師、助産師又は看護師のこと。

(2) 提出期限 令和6年2月13日(火)(必着)

11 受講決定

受講者の決定については、応募者全員の選考結果を令和6年3月上旬に通知する。

12 経費の負担

- (1) 受講者から負担金(eラーニング受講料を含む)を徴収する。負担金については、23万円を予定(現在、次年度予算未確定のため変更の可能性があります。)
- (2) 実習にかかる経費は、受講者が別途負担する。

13 提出方法・問い合わせ先

(1) 提出方法

ア 申込みフォーム

<https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=So54j8z8>



申込み QR コード

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

イ 調査書(第1号様式)及び添付書類は、メール添付又は郵送で提出

(2) 提出先・問い合わせ先

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
北海道保健福祉部地域医療推進局 医務薬務課 看護政策係  
TEL 011-231-4111(内線25-361)  
E-mail: kango.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp

## 北海道専任教員養成講習会教育科目

区 分	教 育 内 容	授 業 科 目	単位数	時間数
【基礎分野】 教育に係る一般的知識・ 技術を学ぶ。	教育の基礎	教育原理	1	15
		教育方法(eラーニング)	1	15
		教育心理	1	15
		教育評価	1	15
		情報通信技術(eラーニング)	1	15
		文章表現法	1	15
【専門分野】 看護学の教授に関する 専門的な教育の内容と 技術を学ぶ。	看護論	看護論	1	15
		看護論演習	1	30
	看護教育論	看護教育・制度論	2	30
		看護教育課程	3	45
	看護教育課程	看護教育課程演習	2	60
		看護教育方法	看護教育方法論Ⅰ	2
	看護教育方法論Ⅱ		2	30
	看護教育方法論Ⅲ		2	30
	看護教育方法演習		3	90
	看護教育演習	専門領域別看護論演習	2	60
看護教育評価	看護教育評価論(eラーニング)	2	30	
	看護教育評価演習	1	30	
看護学校組織運営	看護学校組織運営論 (eラーニング)	1	15	
看護教育実習	看護教育実習	2	90	
合 計			32	675